

中信3校 4強進出

創造 松本第一 都市大塩尻

高校サッカー

選手権大会

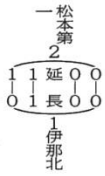
県大会

第94回全国高校サッカー選手権大会は24日、松本市のかりがねサッカー場と長野市の南長野運動公園総合球技場で準々決勝があり、中信勢は創造学園、松本第一、都市大塩尻が4強入りを決めた。松商は都市大塩尻との中信勢対決に敗れ、県ヶ丘も東海大三に力負けした。準決勝は31日に松本市の総合球技場アルウィンで行われる。

都市大塩尻は攻撃陣が実力を発揮した。前半20分にFW代田のゴールで先制すると、10

準々決勝

創造学園 6 2 0 0
上田東 4 0 0 0



都市大 4 2 2 0
塩尻 2 1 0 0
松商 0 0 0 0

東海大 6 3 3 2
3 1 2 3
県ヶ丘



【松商-都市大塩尻】前半20分、先制ゴールを決めて喜ぶ都市大塩尻のFW代田

攻撃陣が持ち味 4ゴール

緊張感の高まる準々決勝でも、都市大塩尻の攻撃力は健在だった。2年ぶりの優勝を狙う強豪・松商を相手に4-0の貫禄勝ち。序盤こそスペースを握れなかったものの、ギアが入ると個人技の高さと運動性を発揮して相手ゴールに襲いかかった。特に攻撃陣3人がそれぞれを持ち味を生かして得点したことは収穫で、決勝の大舞台に向けて視界は良好だ。

「松商の怖さを知っているだけに、立ち上がりの10分は思い切った攻撃ができなかった」と高橋裕之監督。その嫌なムードを払した

都市大松商に圧勝

よくし、攻撃の先陣を切ったのがFW代田亮(3年)だった。MF鮎沢涼(3年)とDF岡村和紀(同)が左サイドを崩して得た好機、岡村のクロスに代田が頭で完ぺきに合わせた。「良いボールが来ると信じていた。決められては嬉しかった」と笑みがこぼれた。

「毎試合得点」を実行しているストライカーは、今大会チーム最多の8点を挙げている。「何点取りたいとかではなく、チームが勝つために点を取る」。試合を重ねるごとに頼もしさが増している。(山浦雄一郎)

分後にDF桑田がPK、FW平林とMF鮎沢涼、くりながらも抑えられ、一人少なくなった後半、松商は後半、相手ゴールに迫る場面をつ見せ、上田東に6-0、0-0と決着がつかず

で快勝した。松本第一は伊那北との接戦を制し、前半を終えて塩尻となる。

準決勝の組み合わせは創造学園-松本第一、東海大-都市大塩尻となる。(山浦雄一郎)

延長戦に突入し、2-1で競り勝った。県ヶ丘は前半の立ち上がりで立て続けに失点し、2点を返して2-1-3で前半を折り返したが、後半も守備陣を立て直せなかった。

■この記事・写真等は市民タイムスの許諾を得て転載しています。無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。

学校法人 五島育英会